

手話だより

令和3年度 11月号

保護者との懇談会(第2回すみれ学級)



10月5日(火)に、保護者とうろう教職員との懇談会が行われました。ろう教職員の皆さんが自分の体験を話したり保護者からの相談に答えたりと大変有意義な時間となりました。

参加された保護者から感想を頂きましたので、一部を抜粋してご紹介します。

- 聾の先生方は、いきいきと自分を語ることにいつも驚かされます。聾学校、インテなど育ち方は違っても、自分というものをしっかり持っているところが素晴らしいです。
- 実際に聾の方々の今までの経験や考え方など、とてもためになるお話を聞いて良い機会となりました。他の保護者の悩みなども共感することが多く、様々な意見が聞けて今後の生活や子育て、子どもとの関わり方などに自分自身、少し自信がついたように感じました。
- 生活の重要性、自立の必要性、今はまだ早いかなと思うことでも経験させ、失敗の大切さを知る。ついつい、手を出してしまいがちなので、色々勉強になりました。想像していた以上に深いお話を聞くことができました。ありがとうございました。

第16回全国手話検定試験 参加者の感想

10月9日(土) 長岡市社会福祉センターで第16回全国手話検定試験が行われました。その手話検定を受けた生徒や先生から感想を頂きました。是非ご覧ください。



Hさん(4級受検)

4級の手話検定は簡単でした。読み取り試験で出された手話はハッキリしていて分かりやすかったです。面接試験では、修学旅行のお土産話について手話で話すことができました。とても楽しかったです！

Kさん(4級受検)

私は初めて手話検定を受けましたが、多少緊張しました。読み取りは簡単でしたが、面接は少し難しかったです。



K先生(4級受検)

4級の勉強を通して語彙が増えたな—と感じます。こういう機会に勉強しないと知っている手話だけを使い回し、読み取りの練習もしないので、やっぱり受検して良かったです。今回は全県の手話を覚えましたが、主要都市の手話も覚えたいと思いました。検定が近づくにつれ結構キツかったのですが、手話講座(職員の研修)のおかげで何とか乗り越えました。ありがとうございます。次は3級目指して頑張ります！

「ろう通訳」知っていますか？

二瓶

オリンピック閉会式、パラリンピック開閉会式のNHKによるライブ中継が、ろう者による手話通訳「ろう通訳」で放送されました。一般の視聴者の人々にも、「手話通訳が面白い」と、その技術や表現力に注目が集まり話題となっていました。その手話通訳は、聴者の手話通訳者とろう通訳者がチームを組んで行われます。

まず、「フィーダー」と呼ばれる聴者の手話通訳者が、アナウンサーの実況等の音声情報を手話へ通訳し、その手話をろう通訳者がカメラの前でより分かりやすい手話にして放送するという方法で行われます。高い技術力とチームワークが求められる大変な作業ではありますが、ろう通訳者ならではの的確で豊かな表現力によって、より多くのろう者がリアルタイムに式典を楽しむことができる放送となりました。

